

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	山岸和美
	全体計画			経費区分	-	内線	3112
事務事業名	4032 庁舎管理事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費					
	事業	050000 庁舎管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
庁舎エレベータを更新し、市役所業務の円滑な執行と、市民を始め来庁舎の皆様へ安全・安心な環境の提供を図る。				庁舎エレベータの耐用年数は20年であり、期限は平成28年3月まで。併せて部品の供給が終了となるため、設備の更新が必要となっている。 設備を更新することで、数年来、県から指摘されている、現行の建築基準法に合致していない既存不適格項目が解消される。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
	庁舎の定期的な保守点検及び整備のほか、庁舎前などへの花木の植栽と管理により、一層の行政サービスの向上が図られた。また、節電・省エネ対策を推進し、平成22年度比で年間総電気使用量13.4%を削減し、平成11年度以降では最低電気使用量となった。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
庁舎の定期的な保守点検及び整備のほか、庁舎前などへの花木の植栽と管理により、一層の行政サービスの向上が図られた。また、節電・省エネ対策を推進し、平成23年度比で年間総電気使用量8.3%を削減し、平成11年度以降では最低電気使用量となった。	庁舎の定期的な保守点検及び整備のほか、花木の植栽と管理により、一層の行政サービスの向上が図られた。節電・省エネ対策により、前年度比年間総電気使用量12.6%を削減し、「須坂市地球温暖化防止実行計画2006」の目標を2年前倒しで達成した。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
庁舎の定期的な保守点検及び整備、花木の植栽と管理により、来庁される市民や職員にとって安全・安心・快適な環境づくりに努めた。庁舎照明のLED化の促進、新電力の導入により電気料金の削減に努めた。	庁舎に来庁される皆様や職員に、安全で安心できる環境を提供するため、施設の管理及び整備を行う。

指標名	平成27年度の電気使用量を、平成18年度比25%削減する。					
算式	伝票積算					単位 kWh
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標				393,279	
	実績	472,149	432,794	378,319	361,486	
指標選定の理由	「須坂市地球温暖化防止実行計画2006」					
最終年度目標の根拠	(H18市役所庁舎年間電気使用量)524,373kWh × 0.75 = 393,279kWh					
指標名						
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		54,221	54,473
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,796	2,785
一般財源		51,425	51,688
人員数(人)	正規職員	1.3	1.4
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	8,915.4	9,601.2
	嘱託職員	2,725.0	2,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	11,640.4	12,326.2
市民一人当たりの経費		1.3	1.3
総額		65,861.4	66,799.2

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	28,012	燃料費 3,871 電気料 11,698 水道料 1,253 修繕料 8,810 (蛍光灯のLED化 2,275など)
13節 委託費	16,542	電話交換業務 5,043 宿日直業務(シルバー人材) 4,201 定期清掃業務 1,159 庁舎トイレ等清掃業務(シルバー人材) 1,416
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	90	県冷凍空調保安協会負担金 32 講習会等出席負担金 52
その他	9,577	臨時職員賃金 3,962、庁舎管理手数料 1,502、使用料及び賃借料 3,939

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	28,092	燃料費 3,856 電気料 12,000 水道料 1,400 修繕料 9,100 (蛍光灯のLED化 2,160など)
13節 委託費	16,467	電話交換業務 4,148 宿日直業務(シルバー人材) 4,224 定期清掃業務 1,339 庁舎トイレ等清掃業務(シルバー人材) 1,434
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	96	県冷凍空調保安協会負担金 32 講習会等出席負担金 58
その他	9,818	臨時職員賃金 3,962、庁舎管理手数料 1,502、使用料及び賃借料 3,939

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市政のシンボルとして、また、災害時の災害対策本部として市庁舎を美しく機能的に保つことは市民・来訪者・そして職員にとっても必要不可欠な業務である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	老朽化した庁舎であり細やかな維持管理が必要。安心・安全・快適な環境づくりとなるよう努めている。指標目標である電気使用量の削減については、照明のLED化の促進、新電力の導入などを計画的に取り組んでいる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	庁舎照明のLED化の促進、新電力の導入により電気料金の削減を図った。除雪や植栽なども含め職員の協力(ボランティア)も得て推進することができた。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

節電については、計画的に目標を達成することができている。引き続き照明のLED化を推進するとともに、節電の意識を高めることで進めていく。
 庁舎の大規模設備(冷暖房、エレベータなど)維持について、保守や一部改修での対応が難しくなっており、課題である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>庁舎照明のLED化の促進、新電力の導入により電気料金の削減を図っている。</p> <p>庁舎の空調改善関係などは、大きな財源を伴うので、計画的な検討が必要。</p>		<p>新電力の導入など、節電・省エネ対策が進んでいる。</p> <p>一層、節電・省エネ、そして来庁者への快適な環境の提供に努めてほしい。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント